



語って、見つけた  
このまちのいいね!



- 1、 2 町の「いいな」と思えるところや「20年後の長泉」について考えました
- 3 参加者がイメージする長泉町、沼津市、三島市の性格を選択（長泉（緑）、沼津（青）、三島（赤））
- 4 まちの魅力を伝えるメッセージが書かれた付箋
- 5 町の魅力を伝える写真を選ぶ様子
- 6 公募した写真「いいね！ながいずみ」約100点の写真が集まりました。現在、役場本館1階住民窓口課ロビーに掲示しています。ぜひ、ご覧ください！
- 7、 8 町をイメージする色や模様を選ぶ様子

## Interview

# ここに住んでいると、意外に気付かない？ 私は、長泉のここが好き♥

「長泉Lab」に参加した方に、まちの魅力やイメージについて伺いました。



齋藤竜也さん (鮎壺)  
高校生

### 自然、歴史、文化を感じられる

高校に進学してほかの市町の人と接する機会が多くなり、長泉についての良い評判を聞くことができます。長泉は自然が豊かで、水と緑の杜公園や鮎壺の滝などの名所も多くあり、自然だけでなく原分古墳や、ベルナルド・ビュフェ美術館といった歴史や文化を感じる面もあります。また、中学生まで医療費が無料など、子育てに向いている良い町だと思います。さらに、白ネギ、四ツ溝柿、あしたか牛といった特産品もあり、誇れるまちだと思います。

### 子どもの笑い声が多い

社会人2年目で、現在、静岡市まで新幹線通勤しています。高校も大学も自宅から通っていました。長泉は交通の便が良く、どこへ行くにも便利なところが良いと思っています。

町外に住む友人から「長泉は子どもが多いから明るいイメージ」と言われます。実際、私の家の近所にも子どもが多く、いつも笑い声が聞こえます。これからも、町内外を問わず、多くの人が「いいな」と思えるような町であり続けたいと思います。



片岡大輔さん (南一色)  
SS伊豆 (SPORTS & SOCIETY IZU)  
・代表

### ほどよく都会、ほどよく田舎

長泉はとにかく交通の便が良く、東京などに行くにも1時間かかりません。

自分が活動している伊豆半島にもアクセスが抜群で、仕事と休日を充実させることが可能です。

子育て支援が有名で、他県の方と話しても羨ましがられることが多いです。ほどよく都会で、ほどよく田舎なところをととても気に入っています。



大湖羽純さん (竹原)  
公務員

## 都市のブランディングは まちを元気にする

皆さんは、都市のブランディングやブランドメッセージという言葉を聞いたことがありますか。

いずれも、まちの将来をつくっていく上で、重要な言葉です。

ワークショップでは「長泉町」と聞いて想像する、言葉や色、形を考えました。これらは、ブランドメッセージやロゴマークをつくる種になります。

都市のブランディングが目指すもの：それは「長泉町」が強いブランド力を持つために一貫性を持ってまちの魅力を発信し、町内外からの共感を呼ぶこと。そして、まちの将来に必要な新たな魅力を創出する取り組みを始めることです。

そのために、まずはまちの魅力を整理し、ブランドイメージを言葉(ブランドメッセージ)と形(ロゴマーク)にして、「長泉町」と聞いて、誰もが思い浮かべ、共通認識となるよう表現します。

難しく考える必要はありません。一人一人が自分のこととして捉え、自分が住んでいるこのまちを好きになることから始まります。

●問い合わせ ● 行政課 ☎989-5500